

さっぽろの交通と都心まちづくりに関する取り組みについて

～ 公共交通の利用促進と、都心の魅力アップを連携して進めます ～

札幌市では9月から10月末までの期間、地下鉄をはじめとする公共交通の利用促進を図るとともに、都心の魅力と活力を高めるための取り組みを実施します。

これは、「札幌新まちづくり計画ビジョン編」の「歩いて暮らせる快適で美しい街の創造」の取り組みのひとつとして行うものであり、ビジョンに描く将来の市民生活の姿、「歩いて楽しめる美しい街並みが広がる都心は多くの市民でにぎわっています。また、市民の移動を支える公共交通機関は、環境に優しく誰もが利用しやすい乗り物として生活に定着しています。」の実現に向けて、市民とともに考えていくためのものです。

今回の取り組みでは、公共交通の利用促進に係るPRを実施するとともに、路面電車の料金割引実験や公共交通の案内サービスの充実などを進め、また、都心地域の活性化を目指し、無料都心循環バスの運行や赤レンガ前でのにぎわいづくりなどの社会実験を実施し、さらに、「まちを使う」というテーマでフォーラムを開催するほか、駅前通の将来像に関して市民と一緒に考える「まちづくり広場」などを開催します。

1 市営交通の料金割引実験等

・地下鉄専用ドニチカキップの商品化 (資料 1)	平成14、15年度に実証実験を実施した、休日に地下鉄が乗り放題の1日乗車券、地下鉄専用「ドニチカキップ」を正式発売する。 ・10月1日(金)発売開始 ・毎土・日・祝日有効、大人500円、こども250円
・路面電車1日乗車券発売実験 (資料 2)	路面電車が乗り放題の1日乗車券を割安な料金で発売し、商品化の可能性を検証する。 ・9月25日(土)～10月31日(日)日まで毎日発売 ・期間中平日・土日祝日有効、大人400円(小児券の設定はしない)
・路面電車家族割引実験 (資料 2)	上記により実験発売する電車専用1日乗車券について、休日には乗車券1枚につき同伴するこども1人を無料とし、その増客効果を検証する。 ・期間中の土・日・祝日に限り1日乗車券1枚につき大人1人、こども1人乗車可
・市電フェスティバルなどの開催 (資料 3)	9月26日(日)に電車事業所周辺で、市電をテーマとしたイベント「市電フェスティバル」を開催するほか、9月25日(土)から路面電車路線図の配布やスタンプテールリングを実施する。

所管(各料金割引実験等について):交通局事業管理部財務課(担当:神・小野) 8962719

(市電フェスティバル等について):財)札幌市交通事業振興公社総務課(担当:柴田・渡邊) 5135205

2 公共交通の案内サービスの充実

・公共交通電話案内サービス「えきバス・テル」の開設 (資料 4)	札幌市コールセンターのオペレーターが、公共交通機関の乗継経路や運行時刻などの問い合わせに対応する電話サービスを、9月17日(金)に開設する。
・地下鉄運休情報メール配信サービスの正式提供 (資料 5)	平成16年6月から試験運用中の「地下鉄運休情報メール配信サービス」について、9月17日(金)から正式提供を開始する。

所管:企画調整局総合交通計画部交通企画課(担当:竹内・大木) 211-2492

3 都心交通社会実験

<p>・無料都心循環バスの運行</p> <p>(資料 6)</p>	<p>都心部を周回する循環バスを運行することにより、快適で円滑な公共交通による、移動手段の導入を行う。人が集まる地域を循環バスで結ぶことによって都心部での人の回遊性を促進し、都心地域の活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月17(金)~23日(木) 10:00~20:00実施 運行延長約3.1km ・駅前通~南1条通~東4丁目線~北3条通~創成川通~北4条通
<p>・めいわく駐車対策の実施</p> <p>(資料 6)</p>	<p>都心内の円滑な通行を確保するため、駅前通において市民と協働によるキャンペーンを実施し、これによりめいわく駐車を削減し循環バスの定時性を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月17(金)~21日(火) 8:00~20:00実施 ・札幌駅前通(北4条通~北大通間、東側車線)
<p>・赤レンガ前にぎわいづくり</p> <p>(資料 6)</p>	<p>人と環境を重視した安心で快適な歩行空間確保を目指し、道路空間の有効活用手法について社会実験を通じて検証するとともに、都心ににぎわいと感動の空間を創出し都心地域の活性化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月19(日)・20日(月) 10:00~18:00実施 ・北3条通(西4丁目西側半丁間)

所管 :企画調整局都心まちづくり推進室都心交通担当(担当:吉田・二階堂) 2112692

4 まちづくりフォーラム

<p>・都心まちづくりフォーラム2004</p> <p>(資料 7)</p>	<p>都市の魅力を高めるうえで、オープンスペースでの人間活動を豊かにすることの意義を確認し、そのための諸課題について多面的に考え、一人でも多くの担い手が生まれる契機とする。</p> <p>テーマ:まちをつかう-もっと魅力ある都市へ</p> <p>~魅力と活力を育む都市の再生~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月11日(土) 13:00~16:15実施 ・会場 ホテルニューオータニ札幌
--	--

所管 :企画調整局都心まちづくり推進室事業調整課(担当:高橋) 2112692

5 まちづくり広場

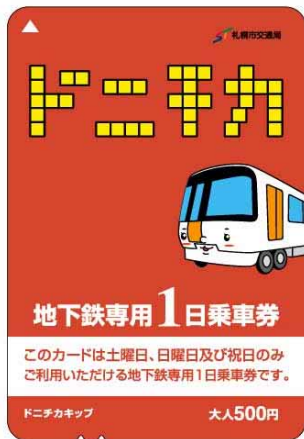
<p>・札幌駅前通の整備基本計画に関する意見募集</p> <p>(資料 8)</p>	<p>9月2日(木)~9月5日(日)の期間、札幌駅前通の日本生命札幌ビル等において、オープンハウス形式(事前申込不要、参加自由)で、札幌駅前通地下歩行空間整備とそれに伴う地上部の再整備について、現在の検討状況を公開し、意見を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1会場 日本生命札幌ビル1階(北3西4) <ul style="list-style-type: none"> 9月2日~9月5日 9:00~20:00(5日は17:00で終了) ・第2会場 大通公園西5丁目(大通西5) <ul style="list-style-type: none"> 9月4日~9月5日 9:00~18:00(5日は17:00で終了)
--	--

所管 :企画調整局都心まちづくり推進室事業調整課(担当:松浦) 2112692

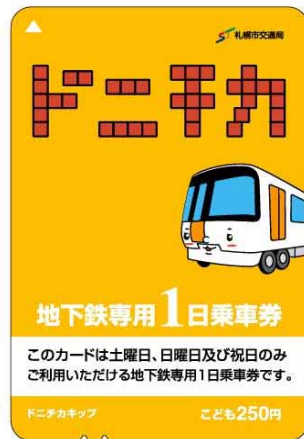
いよいよ! 10月1日から

「ドニチカキップ」を発売します

札幌市交通局では、10月1日から新商品「ドニチカキップ」を発売します。
大人500円、こども250円で、土曜日、日曜日、祝日にご利用いただける地下鉄専用1日乗車券です。
平成14年度、15年度の2年間にわたる実験発売で、ご好評をいただき商品化いたしました。
「ドニチカキップ」とは、ドニチにチカテツ乗り放題のお得なキップという意味を込めています。
どうぞ、週末には「ドニチカ」でお出かけください。



大人用



こども用

土曜日・日曜日・祝日
地下鉄専用1日乗車券

大人 500円

こども 250円

- ・なんと500円で地下鉄1日乗り放題!
- ・土曜日、日曜日、祝日にご利用いただけるお得なカードです
- ・各地下鉄駅事務室・各定期券発売所・交通案内センターで毎日発売します
- ・週末のお出かけにはぜひ地下鉄をご利用ください

お得なご利用方法 (例)

- 地下鉄3区以上を往復乗車する場合にお得です

(例 地下鉄3区280円×往復=560円 ドニチカキップの方が60円お得)

大通に行く場合、自衛隊前、真駒内、宮の沢、南郷18丁目、大谷地、ひばりが丘、新さっぽろ、栄町の各駅をご利用の方は、**行って帰ってくるだけでお得**です

- 地下鉄に3回以上乗車する場合にお得です

(地下鉄1区200円×3回=600円 ドニチカキップの方が100円お得)

円山公園で散歩、さっぽろでお買い物、いつもは歩く大通へも地下鉄で、すすきので食事をして帰ろう.. もう**地下鉄を使えば使うほどお得**です。

【お問い合わせ】

札幌市交通局事業管理部財務課 電話 011-896-2719

路面電車 1日乗車券発売実験 ・ 路面電車家族割引実験

1 実験の目的

路面電車の乗車人員が特に減少傾向にある夏期間(5～10月)や休日の利用促進を図るため、1日乗車券を試験的に発売し、沿線の名所や見所の散策手段としての路面電車の需要を把握する。

また、家族割引を付加し、休日における沿線住民の都心への移動手段としての路面電車の有効性を検証しながら、魅力ある1日乗車券の商品化を目指していく。

2 実験の内容

路面電車専用の1日乗車券を発売する。

(1) 実験期間

平成16年9月25日(土)から10月31日(日)までの37日間

(2) 家族割引

土曜日、日曜日及び祝日は、1日乗車券1枚につき同伴することも1人を無料とする。

(3) 発売額

大人400円(小児券は発売しない)

(4) 発売場所

電車内、大通駅定期券発売所、交通案内センター

(5) 発売時期

平成16年9月25日から10月31日まで(利用日当日の発売)

(6) その他

乗車券の払戻しはしない。

乗車券購入者を対象にアンケート調査を実施する。

問い合わせ先:交通局事業管理部財務課 電話 896-2719

市電フェスティバルおよびその他路面電車関連事業

路面電車の料金割引実験の開始にあわせ、財)札幌市交通事業振興公社において、以下の事業を実施する。

1 市電フェスティバル」の開催

(1) 目的

日ごろの市電の利用に感謝するとともに、市電の利用促進を図ることを目的として、市民に市電の存在を知ってもらい、親しみを感じてもらう機会として実施します。

(2) 日時

平成 16年 9月 26日 (日) 10時から16時まで

(3) 場所

交通局電車事業所

(4) 企画内容

- ・市電と綱引き
- ・工場見学
- ・砂絵コーナー、縁日コーナー
- ・市営交通オリジナルグッズ販売 など

2 路面電車路線図の配布

(1) 目的

市電のさらなる利用促進を図ることを目的として作成します。市内小旅行をイメージし、沿線周辺にある公共施設に加え、人気の飲食店等や民間施設の情報を記載し、市電を含む沿線地域の活性化を図ります。

(2) 配布開始

平成 16年 9月 25日 (土)

(3) 配布場所

地下鉄各駅、各定期券発売所、交通案内センター、電車内

(4) 配布枚数

50,000 枚

3 スタンプテーリングの実施

(1) 目的

市電のさらなる利用促進を図ることを目的として実施します。市電専用 1日乗車券を使用して、市電沿線の民間施設及び飲食店等や公共施設を利用することでスタンプを集める企画です。

(2) 実施時期

平成 16年 9月 25日 (土) から 10月 31日 (日)

(3) 企画内容

路線沿線の飲食店や公共施設等にチェックポイントを設置し、最初の指定数チェックポイントをクリアした方に記念品を贈呈し、さらにポイント数に応じて抽選で景品を贈呈する。

(4) スタンプ台紙配布場所

大通定期券発売所、交通案内センター、電車内

☎ 公共交通電話案内サービス

～ 市内公共交通機関の乗継経路・運行時刻などを

『札幌市コールセンター』が電話でお知らせします ～

札幌市では、市内公共交通機関の乗継経路、運行時刻などをパソコン、携帯電話から検索できる、公共交通情報ウェブサイト「*Sapporo ekibus navi* (さっぽろ・えきバス・ナビ)」を公開しておりますが、パソコン、携帯電話を利用されていない市民の皆さまにも情報を活用していただけるよう、平成16年9月17日から、公共交通情報を電話でお知らせする『公共交通電話案内サービス(えきバス・テル)』を開始いたします。

本サービスは、札幌市の制度・手続き・イベント・施設のご案内など、暮らしのちょっとしたお問い合わせに電話でお答えしている「札幌市コールセンター」が、市民の皆さまにかかわって乗継経路、運行時刻などを検索し電話でお知らせするものであり、年中無休で朝8時から夜9時までお問い合わせをお受けいたします。

また、本サービスの開始にあわせ、公共交通情報ウェブサイト「*Sapporo ekibus navi* (さっぽろ・えきバス・ナビ)」の利用方法、地下鉄の運休情報をインターネットメールで随時お知らせする「地下鉄運休情報メール配信サービス」の利用方法などについても、「札幌市コールセンター」が電話でお答えいたします。

なお、Eメールによるお問い合わせにもお答えいたしますので、下記の電話番号、またはEメールアドレスに、お気軽にお問い合わせください。

○ 電話で、公共交通機関の乗継経路・運行時刻などをお知らせします ……。

☎ 公共交通電話案内サービス “えきバス・テル”

ツーじる シヤクショ

『札幌市コールセンター』 ちょっとおしえてコール 電話 **011-222-4894**

FAX **011-221-4894**

Eメール **info4894@city.sapporo.jp**

○ パソコン、携帯電話からの情報検索は……次のURLからアクセスしてください。

” 公共交通情報ウェブサイト ” 「*Sapporo ekibus navi* (さっぽろ・えきバス・ナビ)」

パソコンから <http://ekibus.city.sapporo.jp/>

携帯電話から

- ・i-mode(ドコモ) <http://ekibus.city.sapporo.jp/i/>
- ・EZweb (au) <http://ekibus.city.sapporo.jp/ez/>
- ・Vodafone live! (Vodafone) <http://ekibus.city.sapporo.jp/v/>



地下鉄運休情報メール配信サービス

～ 地下鉄が運行障害などで運休した場合に

インターネットメールで即時に情報をお知らせします ～

札幌市の地下鉄は、北国の気候に左右されない「市民の足」として重要な役割を担っておりますが、近年、障害の発生により地下鉄の運行が休止し、市民の日常生活に大きな影響の生じる事例が増加しております。

そこで、札幌市では、地下鉄の運休が発生した場合に、市民の皆さまの円滑な交通移動に役立てていただけるよう、平成16年6月11日から、インターネットメールで即時に情報をお知らせする『地下鉄運休情報メール配信サービス』のモニターを募集し、試験運用しておりましたが、9月17日から正式提供を開始いたします。

本サービスでは、運休の発生、折り返し運転の開始、障害の復旧などの情報を、事前にメールアドレスを登録していただいた方に、インターネットメールを利用して即時にお知らせいたします。また、お知らせする内容については、利用される方の生活スタイルにあわせ、情報配信の対象とする路線、情報を配信する曜日などを指定することが可能となっております。

サービスのご利用方法などについては、「札幌市コールセンター」がお答えいたしますので、下記の電話番号、またはEメールアドレスに、お気軽にお問い合わせください。

○ 地下鉄運休情報メール配信サービスのお申し込み ……

公共交通情報ウェブサイト「*Sapporo ekibus navi* (さっぽろ・えきバス・ナビ)」から、情報の配信を希望されるメールアドレスを登録してください。

「*Sapporo ekibus navi* (さっぽろ・えきバス・ナビ)」

○ サービスお申し込みの手順

[パソコンから接続]

<http://ekibus.city.sapporo.jp/>

[携帯電話から接続]

・ i-mode (ドコモ)

<http://ekibus.city.sapporo.jp/i/>

・ EZweb (au)

<http://ekibus.city.sapporo.jp/ez/>

・ Vodafone live! (Vodafone)

<http://ekibus.city.sapporo.jp/v/>

・ 公共交通情報ウェブサイト「さっぽろ・えきバス・ナビ」に接続

・ 「メール配信サービスの申込み」ボタンから申込案内画面へ

・ 情報メールを受け取るメールアドレスを登録

・ 登録確認のメールを受信

・ 確認のメールに記載のアドレスに接続して情報の配信内容を設定
お申込み直後は、情報配信の対象とする路線・曜日等が指定されておらず、メールが配信されない設定となっておりますので、配信内容の設定画面にアクセスしてご希望の配信内容を設定してください。

・ サービス申込み完了

○ お申し込み方法、ご利用方法などのお問い合わせは ……

『札幌市コールセンター』 ちょっとおしえてコール

電話

ツーじる シヤクショ
011-222-4894

FAX

011-221-4894

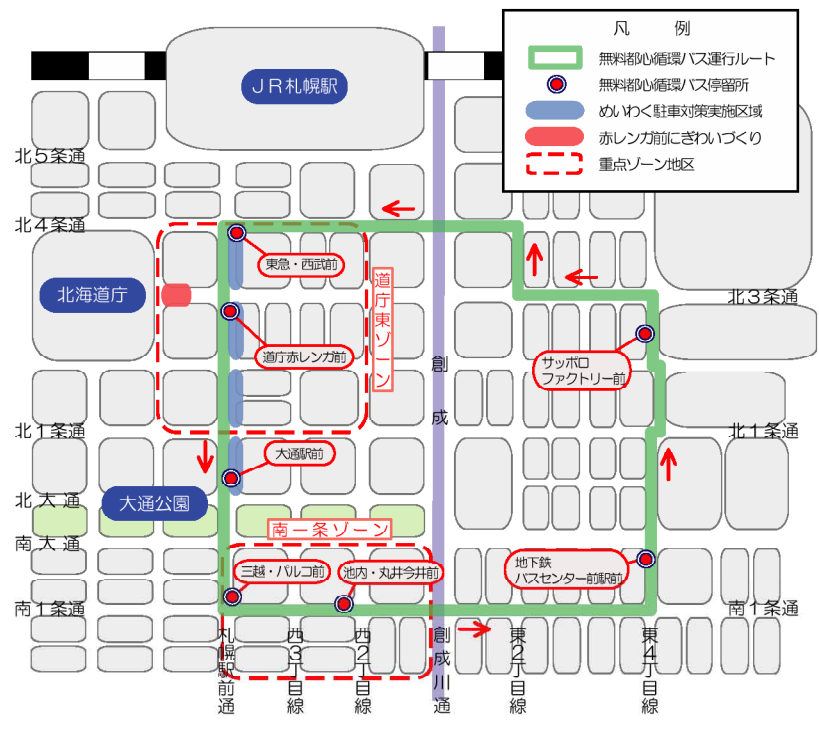
Eメール

info4894@city.sapporo.jp

問い合わせ先 企画調整局都心まちづくり推進室都心交通担当
電話 011-211-2692

無料都心循環バスの運行

- ◆日時：平成16年9月17日(金)～9月23日(木) <7日間> 10:00～20:00
- ◆場所：ルート図の通り(延長：約3.1km)
- ◆目的：都心の魅力向上と活性化に向けた、都心内での回遊性の強化に資する循環バスの導入実験であり、運行状況や利用者ニーズなどを把握し、実現化に向けた運行主体や形態など課題整理を行う。
- ◆実験内容
 - ・乗車料金：無料
 - ・運行ルート：右図の通り
 - ・運行間隔：約13～15分間隔(約25～30分/周)
 - ・運行車両：ノンステップバス 34人乗り(右写真)
 - ・観光ボランティアが乗車し、コースの案内や運行時間、各停留所付近の案内等を行います。



めいわく駐車対策の実施

- ◆日時：平成16年9月17日(金)～9月21日(火) <5日間> 8:00～20:00
- ◆場所：札幌駅前通(北4条通～北大通間、東側車線)
- ◆目的：めいわく駐車を削減し、都心内の円滑な通行を確保するとともに、都心内を回遊する循環バス(「無料都心循環バス社会実験」で実施)の運行の定時性を確保する。また、キャンペーンを通じて、市民と協働による交通まちづくりを推進する。
- ◆実験内容
 - ・地元(事業者・事業者)と協働によるキャンペーンの実施
 - ・交通誘導員による啓発活動
 - ・交通管理者と連携した取り締まり強化(協議中)



平成15年度重点ゾーン社会実験での実施状況



違法駐車防止指導員による路上駐車車向への啓発活動

赤レンガ前にぎわいづくり

- ◆日時：平成16年9月19日(日)・9月20日(月) <2日間> 10:00～18:00
- ◆場所：北3条通(西4丁目西側半丁間)
- ◆目的：都心交通計画の施策展開によって創出される公共空間(オープンスペース)を有効活用し、都心の魅力やアクティビティを高める市民参加型の「にぎわいづくり」の手法について社会実験を通じて検証する。

- ◆実験内容
 - 道路使用の規制緩和に向けた具体的な検討を行う。
 - ・路上でのオープンカフェ(テイクアウト方式)
 - ・コーヒーやパン、野菜等の路上販売
 - ・野外演奏会等の道路空間を利用した演出
 - ・小学生の絵画展
 - 概要
 - 参加者：資生館小学校6年生 90人
 - テーマ：「魅力的な道路空間の将来の絵」



実験のイメージ

まちをもっと自由に楽しく使うために。

都心まちづくりフォーラム2004

開催日2004年9月11日(土) 13:00~16:15

ホテルニューオータニ札幌

入場無料 定員400人

主催：実行委員会

共催：日本都市計画学会

魅力と活力を育む都市の再生
オープンスペースを考える

1 基調講演

- 新しい時代の都市を輝かせる：
国家戦略としての都市再生
- これからの札幌の魅力づくり

2 事例による視点提示

- 1.「都市の美しさ都市の元気：大阪」
- 2.「オープン・カフェのあるまち、
散歩のできるまち：ヨーロッパ」
- 3.「文化をつくるまち：渋谷」

3 パネルディスカッション

- 魅力ある都市づくりへのオープン
スペースの活用

●お問い合わせ

都心まちづくりフォーラム実行委員会事務局
札幌市企画調整局都心まちづくり推進室

☎ 011-211-2692

都心まちづくりフォーラム 実行委員会



都心まちづくりフォーラム

2004

まちづかいの担い手、市民によるオープンスペースの多面的な活用が都市再生の未来を拓きます。

●成熟社会を迎え、多くの都市のまちづくりは新たな社会資本整備の速度を緩め、既存の施設や機能を有効に活用しながら人間性の回復を目指すまちの魅力づくりに重点を移しています。そこに共通するのは、環境と共生を図り、地域の特徴を生かしながら生活の質を高めていくことが、これからの時代の都市文化を育み、さらには、まちの自立、生命力・活力の回復にもつながるという基本理念です。魅力的な都市には多くの人材(財)、企業が集まり高質な文化、独創的な物産、サービスが生まれ、観光力、産業力を高め、それがさらに、まちの魅力を向上させます。

●ところで来訪者は都市の魅力をまずどこで感じるのでしょうか。それは、そのまちに、踏み込んだ時の街路のイメージ、そこに住む人々の誇りや喜びの表情、つまり日々の暮らしの光景ではないでしょうか。都市は建物だけの集まりではありません。街路や公園、さらには河川、建築敷地内の公開空地など、人々がだれでも集まれる空間“オープンスペース”との集合です。そこに、魅力がなければ都市の魅力を感じることができません。かつては、建物の隙間として交通や防火、休憩などの、合理的機能ばかりが求められていた都市の“オープンスペース”を、その都市の個性の発露の場として、より人間性にあふれた活動の場、都市と人、人と人、外と内出会いと交流の場として捉え直す、いわば「まちづかい」の試みが全国的に展開されています。

●札幌においてもオープン・カフェの社会実験や駅前通・創成川通の再整備に着手するという状況のなかで、公共空間の多面的活用により都市の魅力・活力を高めることに努力する段階を迎えています。本フォーラムでは、魅力的な“オープンスペース”を生み出し、そこでの人々の活動を豊かにすることの意義を確認し、そのためのさまざまな課題について多面的に考えていきます。

Program

魅力と活力を育む都市の再生“オープンスペースを考える”

■ご挨拶 岩井 澁 (都心まちづくりフォーラム実行委員会委員長)

1 基調講演

「新しい時代の都市を輝かせる：国家戦略としての都市再生」

清水 郁夫 (内閣官房都市再生本部事務局次長)

国家戦略として進められている都市再生政策の意味、今後の展望、さらに北海道、札幌への期待を語ってまいります。

「これからの札幌の魅力づくり」／上田 文雄 (札幌市長)

札幌の都市再生を「都市の魅力づくり」の視点から捉え、そのビジョンと実現に向けた取り組みについて語ってまいります。

2 事例による視点提示

1. 「都市の美しさ」と都市の元気：大阪／鳴海邦碩 (大阪大学大学院教授、日本都市計画学会会長)
2. 「オープン・カフェのあるまち、散歩のできるまち：ヨーロッパ」／篠原 修 (東京大学大学院教授)
3. 「文化をつくるまち：渋谷」／田中 珍彦 (東急文化村副社長)

21世紀の都市再生の主要テーマである地域に根差した「都市の魅力」に着目し、3つの切り口から、3つの特徴的な地域を事例として、その視点を提示してまいります。

休憩 15分

3 パネルディスカッション

「魅力ある都市づくりへのオープンスペースの活用」

オープンスペース活用の意義、具体的なヒント、アドバイスなど自由に語り合ってもらいます。

パネラー

- 小林 英嗣 (北海道大学大学院教授)
- 田中 珍彦 (東急文化村副社長)
- 篠原 修 (東京大学大学院教授)
- 鳴海 邦碩 (大阪大学大学院教授、日本都市計画学会会長)
- 下平尾 文子 (札幌市企画調整局長)
- コーディネーター 川口 直木 (京都デザイン研究所代表取締役)

司会／林 美香子 (フリー・キャスター)

主催：都心まちづくりフォーラム実行委員会

(札幌市、札幌TMO、NPO法人日本都市計画家協会北海道支部、一番街商店街振興組合、札幌中心部商店街活性化協議会、札幌駅前通振興会、北海道新聞社)

共催：日本都市計画学会

清水 郁夫 (しみず いくお)

内閣官房都市再生本部事務局次長 1978年東京大学法学部卒業。三重県企画振興部長、国土庁大都市圏整備局首都機能移転企画課長、関東地方整備局総務部長などを歴任。2004年7月より現職

上田 文雄 (うえだ ふみお)

札幌市長 1972年中央大学法学部卒業。1978年札幌弁護士会登録。札幌弁護士会副会長、札幌弁護士会公害対策環境保全委員会委員長、日本弁護士連合会人権擁護委員会副委員長を歴任。2003年札幌市長再選で当選

鳴海 邦碩 (なるみ くにひろ)

大阪大学大学院教授 日本都市計画学会会長 1970年京都大学大学院修士課程終了。専門分野は都市計画、都市環境デザイン。1988年「アーバン・クライマクスー現象としての生活空間学」を中心とした著作活動を対象にサントリー学芸賞を受賞。著書に、「景観からのまちづくり」「都市デザインの手法」「都市のり・デザイン」など

篠原 修 (しのはら おさむ)

東京大学大学院教授 1971年東京大学工学系大学院修士課程終了。(財)高速道路調査会道路景観研究委員会委員長、環境省中央環境審議会臨時委員、青梅市景観まちづくり懇談会会長などを兼職。専門分野は景観デザイン、設計・計画思想史。JR東日本東京駅高架橋、皇居周辺道路などの設計指導・監修多数

田中 珍彦 (たなか うちひこ)

(株)東急文化村副社長 1965年早稲田大学卒業。1988年(株)東急文化村設立と同時に取締役に就任。フランチャイズオーケストラ・劇団、プロデューサーズオフィス・芸術監督の各制度の確立を試みる。1989年フランチャイズオーケストラ「東京フィルハーモニー交響楽団」の特別定期演奏会、ハイライト祝祭劇場「タンホイザー」の越越し公演で開村。2001年より現職

小林 英嗣 (こばやし ひでつぐ)

北海道大学大学院教授 NPO法人日本都市計画家協会北海道支部長 1971年北海道大学大学院工学研究科修士課程終了。(社)日本建築学会理事、(社)日本都市計画学会理事、北海道都市計画審議会会長などを兼務。専門分野は都市環境計画学・都市デザイン。都市建築設計、都市空間計画、まちづくりなど広範囲の領域で臨床学的に行動・研究活動を展開

下平尾 文子 (しもむらお あやこ)

札幌市企画調整局長 1972年北海道大学農学部卒業。企画調整局計画部都市計画課長、東区土木部長、建設局土木部長などを歴任。2003年7月より現職

川口 直木 (かわぐち なおき)

(株)京都デザイン研究所代表取締役 1968年東京都立城北高卒。フリーギタリスト、地方公務員、音楽制作等を経て企画プロデューサー。テーマパーク、博覧会、美術館など各種集客事業・施設の企画・計画・制作、まちづくり、観光計画などを主分野に活動。2005年国際博覧会計画、山口きらら博プロデュース等多数。三菱総合研究所客員研究員、千葉商科大学非常勤講師などを兼職

札幌駅前通の将来像に皆さまのご意見を

～まちづくり広場を開催します～

概要

平成16年9月2日(木)～9月5日(日)の期間、札幌駅前通の日本生命札幌ビル等において、オープンハウス形式(事前申し込み不要、参加自由)で、札幌駅前通地下歩行空間整備とそれに伴う地上部の再整備について、現在の検討状況を公開し、皆さまのご意見を募集します。

皆さまからいただいたご意見は、現在、緑を感じる都心の街並み形成計画策定委員会で検討している「札幌駅前通の整備基本計画」に反映していきます。

時間内であれば、ご自由にご覧いただくことができますので、お気軽にお立ち寄りください。皆さまのお越しをお待ちしております。

会場・日時等

(1) 第1会場

場 所：日本生命札幌ビル1階(北3条西4丁目南東角)

日 時：9月2日(木)～5日(日)

午前9:00～午後8:00(5日は午後5:00で終了)

内 容：パネル、模型、説明資料等を公開し、アンケートを実施します。

(2) 第2会場

場 所：大通公園西5丁目

(大通西5丁目北東側、リンケージ・アップ フェスティバル会場内)

日 時：9月4日(土)～5日(日)

午前9:00～午後6:00(5日は午後5:00で終了)

内 容：パネル、映像資料、説明資料等を公開し、アンケートを実施します。

各会場には説明員が常駐し、皆さまの質問にお答えします。



地上部の整備イメージ